

**史学委員会**  
**博物館・美術館等の組織運営に関する分科会**  
**(第24期・第8回)**  
**議事**

1. 会議名 史学委員会博物館・美術館等の組織運営に関する分科会 (第24期・第8回)
2. 日時 令和2年8月21日(金) 13時00分～14時38分
3. 会場 日本学術会議 5-C(1) 会議室 ※ビデオ会議での参加も可能

出席者(オンライン): 井手誠之輔、稲村洋一、小津稚加子、菊地芳郎、木俣元一、中瀬勲、  
芳賀満、三浦篤、松田陽

出席者(対面): 秋山聰、井上洋一、小佐野重利

欠席者: 泉武夫、小池寿子、佐藤宏之、真鍋真

4. 議題

報告事項

- (1) 前回(第24期・第7回)の分科会議事要旨の確認  
小佐野委員長により前回議事要旨の確認が行なわれた。さらに、次期にも本委員会を継続することが確認された。
- (2) 分科会の今期最終年次報告(8月11日提出〆切)について  
小佐野委員長から提出内容の確認が行なわれるとともに、8月27日に提言が発出される旨、報告がなされた。
- (3) その他
  1. 次期会員および連携会員の選出について  
美術史関係からの次期会員および連携会員の選出について、簡単にその経緯が報告された。
  2. 提言についての幹事会からの意見とそれに基づく修正について  
小佐野委員長から説明がなされた。

審議事項

- (1) 幹事会で審査された提言最終版の発出とフォローアップについて  
小佐野委員長から、幹事会での審査において出された意見に対応しての提言の修正について説明があり、了承された。なお、提言発出後、一年以内にインパクトレポートを提出する必要がある、提言のフォローアップのためにも申し送り事項を考

えておく必要があり、継続が確実の木俣委員と新規の会員を中心にして、来年の7月末までにインパクトレポートをまとめなければならず、そのためには前回同様にシンポジウムを行うことが望ましい旨、説明がなされた。

(2) 第25期初年次の分科会活動について

次期も分科会を継続することが確認されるとともに、前回会議で既に1.「博物館と観光」、2.「学芸員の質保証」、3.「文化財の活用における博物館・美術館の機能」等が、次期に取り上げるべきテーマとして挙げられたが、これらを軸に議論が交わされた。(3.の下に1. および2. を包含しうる、との意見があった。)

(3) その他

第25期への申し送り事項の作成について

小佐野委員長から資料に基づき、次期分科会への申し送りに関わる諸事項および手順等が説明され、分科会の早期の設置を求める内容の申し送り事項の提出が承認された。

配布資料

1. 前回の分科会議事要旨
2. 分科会の今期最終年次報告
3. 提言最終版